

共同研究刊行物一覧

教育史研究室

『教育史研究室年報』第23号 ISSN 1345-8191
B5判, 全100頁
2018年3月 印刷・発行
内容:

【A】論文

第二次世界大戦期ドイツにおける学校田園寮運動の指導者たちの学童疎開認識に関する考察
—機関誌『学校田園寮』に焦点を当てて—
江頭 智宏

【B】教育研究活動報告

【C】史料紹介

静岡県師範学校における学校行事
—修学旅行に注目して—
高田 麻美

社会・生涯教育学研究室

『社会教育研究年報』第32号 ISSN 0914-4439
B5判, 全83頁
2018年3月 印刷・発行
内容:

はじめに 河野 明日香

〈研究論文〉

中学校運動部活動の「部活動通信」における指導方法に関する考察
—鹿児島県における中学校野球部の実践を中心として—
久保田 治助, 吉松 孝展, 吉野 結花

学校におけるキャリア教育実践の事例検討
中山 弘之, 坪井 富士男

インドネシアにおける住民学習活動センター(PKBM)の設立に関する研究
GILANG YUDHISTIRA SURYADIMULYA

みどりの住民自治と社会教育実践(後編)
—「みどり・フォーラム」, 回顧と展望—
大田 高輝

〈翻訳・資料紹介〉

愛知軍政部月例報告翻訳(その9)
訳 占領期社会教育史研究会(新海英行・大田高輝・石井拓児・榊原博美・林恭子)

J.F.C ハリソン著『学習と生活 1790-1960』
—英国成人教育運動史—(その2)
監訳 新海英行, 訳 英国成人教育史研究会(旭多貴子・杉本武之・杉野利幸・林恭子・藤江知子)

研究室報
編集後記

技術・職業教育学研究室

『技術教育学の探究』第17号 ISSN 2189-6348

A4判, 全77頁

2018年4月 印刷・発行

内容：

Проблемы трудовой подготовки молодежи
в общеобразовательной школе России

Котряхов Николай Васильевич

Рожина Вера Анатольевна

Problems of Youth Labor Training in Russia's
Comprehensive Schools

Kotryakhov Nikolai Vasilyevich

Rozhina Vera Anatolyevna

ノルウェーの職業教育とその苦悩

田淵 宗孝

書評 Joël Lebeaume “Cent ans de travail manuel
pour l'école élémentaire: Aspects didactique”
〔première partie〕

京免 徹雄

The Arts and Crafts Movement and its Influence on
English Education at the beginning of the Industrial
Revolution

Gisli Thorsteinsson, Etsuo Yokoyama

How Denmark try to solve the problem of dropout in
vocational education?

Susanne Gottlieb

いわゆる準備練習について

Otto Salomon 著

横山 悦生 訳

編集後記

横山 悦生

佐々木享没後5周年記念シンポジウムへのお誘
いとカンパの訴え

横山 悦生

『技術教育学の探究』第18号 ISSN 2189-6348

A4判, 全73頁

2018年10月 印刷・発行

内容：

Swedish Sloyd – What happened after Otto
Salomon?

Kajsa Borg

モデルシリーズの組織に関するいくつかの観点
について

Otto Salomon 著

横山 悦生 訳

スウェーデンの教育的スロイドはいかなる考え
を生み出してきたのか？

Otto Salomon 著

横山 悦生 訳

The Role of Project Activities in the Technological
Education of Schoolchildren in the Russian
Federation

Khotuntsev Yu.L.

職業指導から進路指導への移行過程についての
一考察

三宅 章介

横山 悦生

The Importance and Benefits of Practicing Craft

Tom Page, Gisli Thorsteinsson

Development Trend of General Technology
Education in Senior High School in China

Xie Jun

Jirigala

Mamoru Matsuoka

Kiyoshi Sera

生涯学習・キャリア教育研究センター

『生涯学習・キャリア教育研究』第14号

ISSN 1880-3148

A4判, 全59頁

2018年3月 印刷・発行

内容：

イギリスにおける職業訓練改革の動向～

Degree Apprenticeship の評価過程に着目して
田中 宣秀

明治40年代頃の手工科における評価の視点につ
いて

光橋 正人

編集後記

横山 悦生

佐々木享没後5周年記念シンポジウムへのお誘
いとカンパの訴え

横山 悦生

専門職大学の制度化過程に関する政策社会的
分析

寺田 盛紀

初等中等教育におけるポートフォリオを活用し
たキャリア教育の現状と課題

—実践の継続性・発展性の可視化を目指して—

胡田 裕教, 清水 克博, 高綱 陸美,
鈴木 稔子, 角田 寛明, 柴田 好章

植民地期朝鮮の夜学教師に関する一考察

—1930-40年代の夜学経験者のオーラルヒス
トリーをもとに—

李 正連

なぜスウェーデンはデンマークと異なる経路を
選択したのか

Pettersson Lars (著)

ブロムベリ・ニクラス, 横山 悦生 (共訳)

活動報告

研究員名簿

機関誌編集規程

編集後記

教育経営学研究室

『地域教育経営に学ぶ』第20号 ISSN 1344-798X

B5判，全186頁

2018年3月 印刷・発行

内容：

はじめに

お世話になった方々

特別寄稿

「『教育課程づくり』の節目は、学校づくりの希望を確かめ合う取り組みに」

宗谷教職員組合書記長 内藤 修司

「豊かな教育環境の中で」

礼文町立船泊小学校校長 坂本 孝行

「平和憲法と教育現場の課題」

稚内市教育相談所教育相談アドバイザー

平間 信雄

「保健室から『宗谷で出会った先生方』」

稚内市立稚内港小学校養護教諭 眞宮 泰子

2017年度 宗谷教育調査団 報告論文

報告1：宗谷管内における教育研究活動の特質

—1982年から現在までの管内教育研究活動に着目して—

報告2：北海道礼文町における礼文型教育連携の構造と意義

—町レベルでの地域教育経営の観点から—

報告3：子育ての取り組みから見える「大人育ち」の意義

—稚内市潮見が丘地区に着目して—

報告4：すべての子どもの全面的な発達を支援する組織的な取り組みと学校経営の特質

—稚内市立稚内港小学校の教職員集団づくりに着目して—

研究ノート：北海道立稚内高等学校定時制課程における子どもの貧困対策の現状と課題

特集『地域教育経営に学ぶ』20号発刊記念特別企画

「『子どもの全面的発達』の捉え直し—研究の深化を目指して—」

2017年度宗谷ゼミ 活動報告

◆各班の紹介

◆宗谷ゼミ1年のあゆみ

◆本調査のあゆみ

◆宗谷ゼミ運営体制

◆予備調査日程一覧

◆本調査日程一覧

◆パンフレット

◆宗谷ゼミニュース

みんなのことば

2017年度 教育経営学宗谷ゼミ 参加者一覧

編集後記

『地域教育経営に学ぶ』バックナンバー

巻頭言

1. 特集「教育におけるアドミニストレーションのこれまでとこれから」
特集「教育におけるアドミニストレーションのこれまでとこれから」に寄せて
御代田 桜子
戦後日本における学校づくり研究と『教育におけるアドミニストレーション』
—教育課程経営研究と1950年代研究を中心に—
富樫 千紘
「教育におけるアドミニストレーション」の国際比較・海外研究の課題と展望
濱口 輝士
『教育におけるアドミニストレーション』（創刊号－第20号）目次一覧
2. 自由研究論文
不登校児童生徒の保護者による取り組みの発展と課題
—「登校拒否・不登校問題全国連絡会」とのつながりに着目して—
近藤 翔太
3. 研究ノート
原発避難地域における学校再編と学校と地域の関係に関する基礎的考察
—総合的な学習の時間「ふるさとなみえ科」実践に着目して—
御代田 桜子

4. 教育経営学研究室における研究・教育活動記録
2017年度研究室運営報告
加藤 正樹・白井 優香子
教育経営学研究Ⅰ
—教育経営学理論の検討—（合同ゼミ）の総括
ワルニ・村田・大平・中川・西村
教育経営学研究Ⅲ・Ⅳの総括
南部 初世
教育経営学演習Ⅰ・Ⅱ
—地域教育経営の事例研究—（宗谷ゼミ）の総括
井上・中川
2017年度教育経営学研究Ⅴ
加藤 正樹・近藤 翔太
教育経営懇談会活動報告
鈴木 草堂駒・鈴木 繁聡
5. 個人研究記録（卒論抄録）
学校組織改革の有効性と課題
—「チームとしての学校・教職員の在り方に関する作業部会」における議論を手がかりに—
安藤 みちる
日本における「学級制」の変遷と課題
—「心の居場所」の可能性—
大平 紗矢香
新学習指導要領に残された課題と展望
—教育課程企画特別部会における「カリキュラム・マネジメント」をめぐる議論に着目して—
小池 真以

「教育機会確保法」が現行学校制度原理に及ぼす影響の検討

白井 優香子

必修クラブ制度化の検討

中川 慶乃

今次学習指導要領の性格変更のもとでの教育課程経営論の検討

—「教育課程」理解の変容に着目して—

西村 健太郎

学校管理職の役割・力量研究の批判的検討

堀井 大輔

彙報

編集規定

編集後記

教員学会発表題目一覧

(2017年11月～2018年10月)

吉川卓治

吉川卓治「戦後改革期特設高等学校の研究」, 教育史学会第62回大会, 一橋大学, 2018年9月30日.

江頭智宏

江頭智宏「ハインリヒ・ザールハーゲにおける第二次世界大戦下ドイツの学童疎開認識に関する考察—学校田園寮運動との関係に焦点を当てて—」(九州教育学会第69回大会, 鹿児島大学, 2017年11月25日)

辻浩

辻浩・張苑菁・王倩然・河野明日香・竹井沙織・大村隆史「高度経済成長期社会教育史研究(1)—阿智村公民館報に見る地域の変貌と住民の学習—」日本社会教育学会第65回大会, 名桜大学, 2018年10月6日.

横山悦生

三宅章介・横山悦生「地域中小企業における5S活動の実態とその課題—特に「躰」教育を中心に—」日本産業教育学会第59回大会(横浜国立大学), 2018年10月6日

横山悦生「オットー・サロモンの『教育学の諸問題』に関する研究(その1)」日本産業教育学会第59回大会(横浜国立大学), 2018年10月7日

Etsuo Yokoyama, Akiyuki Miyake 'Practice and challenges of the 5S method in local small and medium enterprises -Focusing on "Shitsuke" Training-' the XXIV International Scientific and Practical Conference "MODERN TECHNOLOGICAL EDUCATION" Moscow State Pedagogical University, Moscow State Technical Bauman University, 2018.10.9

渡邊雅子

渡邊雅子, 2018, 「フランス式小論文の思考表現スタイルと〈書く〉教育の実践—フランスの高大接続の構造」日本教育学会第77回大会 宮城教育大学(8月30日).

久野弘幸

Shibata, Yoshiaki & Kuno, Hiroyuki (coordinator), Nagoya University Forum: Transcript-based Lesson Analysis: An Approach to Enhance Lesson Study through a Lens of Academic Cultures, World Association of Lesson Studies 2017 International Conference in Nagoya, Nagoya University: Nagoya, Japan. (2017年11月25日)

Kuno, H., Lesson Study as an Effective Element for Curriculum Implementation and Improvement: Competency-based curriculum into classroom, Panel discussion "Japanese Style Education in Japan: What and How, Challenges", APEC-UNESCO (MGIEP)-Tsukuba International Conference XII: 12 years of Lesson Study (Jugyo Kenkyu) on APEC project network, Tsukuba University: Tokyo, Japan. (2018年2月7日)

<http://www.criced.tsukuba.ac.jp/math/apec/apec2018/>

Kuno, H., Lesson Study as an Effective Element for Curriculum Implementation and Improvement, Panelist, Panel discussion 2B - Teacher leadership and teacher collaboration, Reimagining Teacher Education Symposium, March 8-9, 2018, The University of Hong Kong: Hong Kong, China. (2018年3月9日)

<http://100.edu.hku.hk/rtes/Moderators-and-Panelists/>

柴田好章

【国内学会】

(課題研究)「学校現場との協働に基づくカリキュラム研究をどう進めるか」, (コーディネータ) 村川雅弘・田村知子・柴田好章, 日本カリキュラム学会第29回大会, 北海道大学旭川校, 2018年6月30日.

（共同研究）「逐語記録にもとづく授業分析のモンゴルへの導入—小学校算数授業を対象にして—」, NORJIN DULAMJAV・大谷尚・柴田好章, 日本教育方法学会第54回大会, 和歌山大学, 2018年9月29-30日.

（共同研究）「高等学校数学における協同的問題解決過程の分析—生徒の理解状態の推移を中心に—」, 田中真帆・花里真吾・向井昌紀・柴田好章, 日本教育方法学会第54回大会, 和歌山大学, 2018年9月29-30日.

（共同研究）「中学校社会科授業における意見交流過程の分析—中間項の拡張による発言の関連可視化と内容考察—」, 中道豊彦・石黒慎二・久留島夕紀・柴田好章・埜崎志保, 日本教育方法学会第54回大会, 和歌山大学, 2018年9月29-30日.

（共同研究）「授業研究を通じたプロフェッショナル・キャピタルの構築に関する実証的研究（その1）」, 千々布敏弥・小柳和喜雄・木村優・木原俊行・柴田好章・サルカール アラニ モハメッド レザ・久野弘幸, 日本教育方法学会第54回大会, 和歌山大学, 2018年9月29-30日.

（ワークショップ）「授業逐語記録にもとづく比較授業分析—モンゴル算数授業における課題と概念理解の関係を中心に—」, 柴田好章・サルカール アラニ モハメッド レザ・久野弘幸・NORJIN DULAMJAV, 日本教育方法学会第54回大会, 和歌山大学, 2018年9月29-30日.

【国際会議等】

Yoshiaki Shibata, Designing materials for teachers to raise the competency Focusing on observation skills using Transcript-Based Lesson Analysis, The International Conference on Effectiveness and Efficiency of Education, Mongolian National University of Education, 4th-5th May 2018.

Yoshiaki Shibata, Hiroyuki Kuno, et al. Transcript-based Lesson Analysis (TBLA): An approach to enhance Lesson Study through lens of academic cultures (Forum Coordinator), The World Association of Lesson Studies International Conference 2018, Nagoya University, 23-26, Nov, 2017.

【講演等】

「教師を育てる教師づくりをどう進めるか—大学・教育現場をどのように繋いでいくか—」, 教師教育研究フォーラム, 早稲田大学教師教育研究所, 2017年11月19日.

「協働共育型ミドルリーダーの育成のために教頭がすべきこと」, 愛知県商業科高等学校教頭会研究協議会, アイリス愛知, 2017年11月29日.

「主体的・対話的で深い学びによる資質・能力の向上」, 三重県菰野町立朝上小学校, 2017年12月15日.

「Lesson Studies の国際ネットワークの構築とアジアにおける教師教育プログラム開発」, 第1回名古屋大学アジア共創教育研究機構シンポジウム『社会の課題解決へ新プラットフォームのキックオフ』, 2017年12月21日

「研究組織力向上講座」, 名古屋大学教育方法学研究室主催（愛知県総合教育センター教育研究リーダー養成研修オプション講座）, 2017年12月26日.

「その子にとっての問いとは何か—深い学びが成立する授業とは—」, 社会科の初志をつらぬく会第56回東海研究集会基調講演, 四日市市総合会館, 2018年1月14日.

「ミドルリーダー育成の意義と課題」, 愛知県総合教育センター所員研修会, 2018年5月10日.

「深い学びを生み出すために」, 岐阜聖徳学園大学フォーラム, 名古屋ルーセントタワー, 2018年6月10日.

「ミドルリーダーの役割」, 名古屋市子ども青年局保育部保育指導課専門研修会, 2018年7月5日.

「ミドルリーダーの役割」, 愛知県総合教育センター教育研究リーダー養成研修, 2018年7月23日.

「高等学校における『主体的・対話的で深い学び』を実現する授業改善の取り組み」, 名古屋市教育センター高等学校教頭研修会, 2018年7月30日.

「新教育課程で求められるアクティブな学び」, 稲沢市教育課程編成委員会研修会, 2018年8月3日.

「授業洞察力向上講座」, 名古屋大学教育方法学研究室主催（愛知県総合教育センター教育研究リーダー養成研修オプション講座）, 2018年8月6日.

Outline of Transcript Based Lesson Analysis for Research on teaching and learning: Participatory Model of Lesson Study, SMA BPI 1 Bandung, Indonesia, 11, Aug, 2018.

Outline of Transcript Based Lesson Analysis for Research on teaching and learning, Indonesia University of Education, 13, Aug, 2018.

「研究組織力の向上のために—学校を基盤とする研究と研修の充実に向けて—」愛知県総合教育センター教育研

究リーダー養成研修, 2018年8月22日.

「教師の学び合いとしての校内研修の充実にむけて」, みえ・あかりの会, 2018年8月18日.

「総合的な学習の時間の授業について～ふるさと学習の深化を図る～」, 田原市立田原南部小学校校内研究会, 2018年8月27日.

「主体的・対話的で深い学びの実現に向けて～カリキュラム・マネジメントと校内研修の活性化を通して～」, 東三河高等学校教務主任連絡協議会講演, 2018年10月12日.

坂本 将 暢

SAKAMOTO, Masanobu “Beyond the Lesson Analysis: an Open-ended Dialogue with Data” (世界授業研究学会 (WALS) 2017, Nagoya University, 2017年11月23日)

坂本将暢「授業を分析することの意味と可能性」(日本教育工学会 SIG02研究会, 名古屋大学, 2018年2月11日)

Bruce Lander, Mohammad Reza Sarkar Arani, Masanobu Sakamoto, Shirley Tan “Classroom Climate Regarding Mistakes: A cross Cultural Analysis” (アメリカ教育学会 (AERA), Marriott Marquis, 2018年4月13日)

坂本将暢「大学での「アクティブ・ラーニング」」(愛知東邦大学地域創造研究所設立15周年記念シンポジウム「アクティブ・ラーニングの視点を問う ～小・中・高・大学で『主体的・対話的で深い学び』を育むために～」, 名古屋ガーデンパレス, 2018年3月3日)

坂本将暢「工学的アプローチによる教育実践データの分析と意義」(日本教育方法学会第21回研究集会, 大阪教育大学天王寺キャンパス, 2018年6月10日)

SAKAMOTO, Masanobu “Can the Social Studies Change Students’ Vocational Values?” (アジア職業教育訓練学会 (AASVET) 2018, Prime Plaza Hotel Jogjakarta, 2018年9月8日)

木原俊行, 深見俊崇, 坂本将暢, 島田希, 古田紫帆「教育工学的な視点に基づく大学院レベルの教師教育プログラムの開発」(日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学, 2018年9月28日)

坂本将暢, 柴田好章「子どもの発言の関連構造の可視化—関連構造に着目した分節わけと話し合いの展開—」(日本教育工学会第34回全国大会, 東北大学, 2018年9月29日)

坂本将暢「新学習指導要領を踏まえた通信制高校での指導・学習のあり方」(中部地区通信制高校研究会, 長野西高等学校, 2018年10月16日)

南 部 初 世

南部初世「課題研究 日本型教育経営システムの有効性に関する研究：新たな学校像における教育の専門性(3) —『チームとしての学校』をめぐる改革事例に着目して—：まとめにかえて」(日本教育経営学会第58回大会, 鳴門教育大学, 2018年6月10日)

サルカール・アラニ・モハメッド・レザ

Sarkar Arani, M.R. et al. (2018). Classroom Climate Regarding Mistakes: A Cross-Cultural Analysis, American Educational Research Association, United States, New York, April 13-17, 2018.

サルカール アラニ モハメッド レザ・久野弘幸・Norjin Dulamjav・柴田好章 (2017)「授業逐語記録にもとづく比較授業分析—モンゴル算数授業における課題と概念理解の関係を中心に—」ワークショップ企画 柴田好璋『日本教育方法学会第54回大会プログラム』和歌山大学2018年9月30日.

松 下 晴 彦

松下晴彦「20世紀初頭のアメリカにおける研究推進体制の成立と社会科学の位置」(アメリカ教育学会第30回大会, 東洋学園大学本郷キャンパス, 2018年10月20日)

生 澤 繁 樹

Shigeki Izawa “John Dewey’s Pragmatism and the Disputes about ‘Human Nature’: Rethinking the

Philosophy of Politics and Education in Modern Japan,” Symposium: The Influence of Naturalism and Pragmatism upon Educational Thoughts and Philosophies in East Asia, PESA Conference 2017, Philosophy of Education Society of Australasia, Crown Plaza Hotel, Newcastle, Australia, December 3, 2017.

Shigeki Izawa “Creating Inquiry-based Learning: Rereading and Recontextualizing of Dewey’s Educational Thought,” Keynote Presentation B: The Future of Teaching and Learning in the Post Nation Era: “How” and “For What?,” 38th Annual International Seminar, International Society for Teacher Education, Myoko-Kogen Messe, Myoko, Japan, May 15, 2018.

生澤繁樹「ジョン・デューイと社会変革への教育—アメリカ革新主義の一断面—」, アメリカ学会第52回年次大会・部会企画「20世紀アメリカの諸思想」, 北九州市立大学, 2018年6月3日.

生澤繁樹「異質な他者の(不)可能性——多文化主義とカリキュラムの政治学から考える」, 日本カリキュラム学会第29回大会・課題研究「いま改めて多文化主義の教育を考える」, 北海道教育大学旭川校, 2018年7月1日.

Shigeki Izawa, Masaki Takamiya, Hektor K. T. Yan, Cheuk-Hang Leung, Ren-Jie Vincent Lin “Reconsidering the Intersection of Politics and Education: East Asian Perspectives,” Philosophy of Education Society of Japan, Yamanashi Gakuin Junior College, Kofu, Japan, October 7, 2018.

服部美奈

服部美奈「ASEAN市民の教育—タイとインドネシアの事例から」(鈴木康郎と共同発表), 第1回東南アジア教育研究フォーラム, 名古屋大学, 2017年11月25日

服部美奈「インドネシア 国際水準校: 国民教育における卓越性と教育の平等」(課題研究Ⅱ 公教育制度の第3ステージへの模索～自律的公設学校の国際比較を通して～), 日本比較教育学会第54回大会, 課題研究, 東広島市芸術文化センターくらら(大会校: 広島大学), 2018年6月24日

松本麻人

松本麻人「地方教育行政の組織と機能—イギリス・ドイツ・フィンランド・韓国・ニュージーランドを対象に」(共同発表者: 渡辺恵子・植田みどり・坂野慎二・高橋望・渡邊あや), 日本比較教育学会第54回大会, 広島大学, 2018年6月23日

松本麻人「東アジアにおける高大接続の比較研究」(共同発表者: 小川佳万・小野寺香・大和洋子), 日本比較教育学会第54回大会, 広島大学, 2018年6月24日

松本麻人「地方教育行政組織に関する国際比較研究—首長の党派的影響力を抑える仕組みに着目して—」(共同発表者: 渡辺恵子・植田みどり・坂野慎二・高橋望・山下晃一), 日本教育行政学会第53回大会, 静岡大学, 2018年10月14日

内田良

内田良・上地香杜・加藤一晃・野村駿・太田知彩, 「部活動指導という舞台: 中学校教員を対象とした全国調査の分析結果より」, 日本教育社会学会第70回大会, 佛教大学, 2018年9月.

阿曾沼明裕

阿曾沼明裕「アメリカの研究大学における資源配分」(広島大学高等教育研究開発センター第45回研究員集会「高等教育の財政問題—資金配分の市場化を考える」, 広島大学, 2017年11月23日).

桒寄志保

Shirley TAN, Shiho NOZAKI “Where is the Potential of Transcript-Based Lesson Analysis”, World Association of Lesson Studies International Conference 2017, Nagoya University, November 23, 2017.

Shirley TAN, Kumi FUKAYA, Shiho NOZAKI “Development of Bansho (Board Writing) as a Research Method to Enhance Lesson Study”, World Association of Lesson Studies International Conference 2017, Nagoya University, November 26, 2017.

埜寄志保「話し合い活動における価値の共有に関する研究—中学校3年社会科授業の分析—」日本教育方法学会第54回大会，和歌山大学，2018年9月29日.

教員著書名・論文題目一覧

(2017年11月～2018年10月)

吉川卓治

- 共編書 新修豊田市史編さん専門委員会編『新修豊田市史』資料編近代Ⅱ，愛知県豊田市，2018年3月。
※第三編第一章「日露戦後の教育」第二節「小学校教育の実践」（431～448頁），第二章「戦間期の教育」第二節「小学校教育の実践」（491～506頁），第三章「戦時下の教育」第二節「小学校・国民学校の動向」（552～567頁），第四章「敗戦後の教育」（589～619頁），解説（786～788頁，791～792頁，795～796頁，798～800頁）を執筆委員として担当。
- 共著書 教育史学会編『教育史研究の最前線Ⅱ』六花出版，2018年5月。
※第8章第2節「日本高等教育史の展開」（212～219頁）を執筆。
- 論文 吉川卓治「総力戦体制下における高等教育機関の設置と地域—公立医学専門学校に注目して—」，大学史研究会編『大学史研究』第26号，2017年12月，5～25頁。
- 論文 吉川卓治「戦後改革期山梨県における公立大学設立運動」，『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学）』第64巻第2号，2018年3月，53～65頁。
- 論文 吉川卓治「一九二〇～一九四〇年代における医学視学委員の発足と活動—公立医科大学設立にかかわる資料を手がかりに—」，『名古屋大学大学文書資料室紀要』第26号，2018年3月，1～28頁。
- 書評 吉川卓治「戸村理著『戦前期早稲田・慶應の経営—近代日本私立高等教育機関における教育と財務の相克—』」，神戸大学教育学会編『研究論叢』第24号，2018年6月，92～95頁。
- 事典項目 「地域振興〔日本〕」（635～636頁），「一府県—大学原則」（196頁），「大学等の地域的適正配置の推進について」（602頁）児玉善仁ほか編『大学事典』平凡社，2018年6月。
- リプライ 吉川卓治「書評に込めて」，日本教育史研究会『日本教育史研究』第37号，2018年8月，92～95頁。
- 活動報告 「2016年度地区研究活動報告（1）」，日本教育学会『教育学研究』第84巻第4号，2017年12月，「中部地区」（100～104頁）を執筆。

江頭智宏

- 論文 「第二次世界大戦下ドイツ・ハンブルクの学童疎開への学校田園寮運動の関わりに関する考察—ハインリヒ・ザールハーゲの学童疎開認識に焦点を当てて—」江頭智宏，名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育科学），第64巻第2号，名古屋大学大学院教育発達科学研究科，67～81頁，2018年3月
- 論文 「第二次世界大戦期ドイツにおける学校田園寮運動の指導者たちの学童疎開認識に関する考察—機関誌『学校田園寮』に焦点を当てて—」江頭智宏，教育史研究室年報，第23巻，名古屋大学大学院教育発達科学研究科教育史研究室，1～30頁，2018年3月
- 科研費報告書 「ドイツにおける学校田園寮運動の変容に関する研究—学童疎開との関係に焦点を当てて—（課題番号：15K17343）」江頭智宏，総頁数65頁，2018年3月

中嶋哲彦

- 著書 「まえがき」（1～5頁），「貧困問題は解決に向かっているのか：子どもの貧困率13.9%の背後にあるもの」（第10章：189～202頁）『誰も置き去りにしない社会へ：貧困・格差の現場から』（新日本出版社，2018年1月12日）。
- 著書 「序」（1～9頁），「第193国会における教育勅語使用容認論とその問題点」（第5章149～181頁），「学校教育における教育勅語の扱いについて」（第6章182～185頁），日本教育学会教育勅語問題ワーキンググループ編『教育勅語と学校教育：教育勅語の教材使用問題をどう考えるか』（世織出版，2018年4月10日）。
- 著書 「子どもの貧困対策の現状と課題」日本子どもを守る会編『子ども白書2018「子どもを大切にす国」をめざして』（本の泉社，2018年8月15日）106～107頁。

- 著書 「高等学校学習指導要領改訂のねらい：新設科目『公共』に着目して」日本婦人団体連合会編『女性白書2018』（ほるぷ出版，2018年8月27日）。
- その他 「課題研究『自治体教育政策における構造改革と教育的価値の実現』のまとめ」『日本教育政策学会年報』第25号（2018年）135-138頁。
- 論文 「ローカル視点の再建とグローバル視点の組換え」『大学業か学会年報』第14号（2018年）19-40頁。
- 論文 「なぜ，全国学力・学習状況調査に参加し続けるか：教育委員会の責任と権限」『教育』
- 論文 「中学校の入学資格について：知っておきたい教育法規第50回」『時報市町村教委』第271号（2017年11月）10-11頁。
- 論文 「夜間中学の法整備：知っておきたい教育法規第51回」『時報市町村教委』第272号（2018年1月）10-11頁。
- 論文 「巻頭言：学力の本質を問う自由と責務」『名古屋大学教育学部附属中高等学校紀要』第62号（2018年3月）1-2頁。
- 論文 「いじめの定義と教育委員会の責務：知っておきたい教育法規第52回」『時報市町村教委』第273号（2018年3月）10-11頁。
- 論文 「『不当な支配』禁止と教育委員会の保護義務：知っておきたい教育法規第53回」『時報市町村教委』第274号（2018年5月）10-11頁。
- 論文 「学びの統制と人格の支配：新設科目『公共』に注目して」『世界』第909号（2018年6月）126-133頁。
- 論文 「調査の名を借りた不当な支配：公立中学校の特別講師招へいへの介入」『社会民主』第757号（2018年6月）14-18頁。
- 論文 「憲法と民主主義を教育にいかす」『人間と教育』第99号（2018年）28-35頁。
- 論文 「デジタル教科書の導入：知っておきたい教育法規第54回」『時報市町村教委』第275号（2018年7月）10-11頁。
- 論文 「教育委員会のDNA：知っておきたい教育法規第55回」『時報市町村教委』第276号（2018年9月）10-11頁。

石井 拓 児

- 論文 石井拓児「教育財政ガバナンスの構造的変容と学校経営の自律性をめぐる理論的課題」（『日本教育経営学会紀要』第60号，第一法規，2018年5月，16-29頁）
- 論文 石井拓児「教育基本法の改正と教育振興基本計画」（日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営2 現代の教育課題と教育経営』（学文社，2018年5月，14-23頁）
- 論文 石井拓児「社会に開かれた教育課程」（日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営5 教育経営ハンドブック』（学文社，2018年5月，136-137頁）
- 論文 石井拓児「学習指導要領の性格をめぐる歴史的考察と教育法研究の課題」（『日本教育法学会年報』第47号，有斐閣，2018年4月，114-123頁）
- 論文 石井拓児「学校事故・部活動問題の教育的・制度的検討」（『子ども安全研究』第3号，8-13頁，2018年1月）

辻 浩

- 編著書 岡庭一雄・細山俊男・辻浩編著『自治が育つ学びと協働 南信州・阿智村』自治体研究社，2018年2月，全214頁。
執筆部分 「第4章-2-(1)(2)(3)(4) 人口問題と地域づくり／大人が学ぶ地域の豊かさと子育て／大人も学ぶ，子どもも学ぶ平和のつくり方／基礎学力の保障と地元高校の改革」165-172頁。
- 論文 辻浩「高度経済成長期の農山村における公民館主事の集団討議と主体形成—長野県下伊那地域を事例として—」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要（教育学）』第65巻第1号，2018年10月，1-11頁。
- 書評 辻浩「高橋満編著『成人教育の社会学—パワー・アート・ライフコース—』（東信堂，2017年9月）」

社会教育・生涯学習研究所『社会教育・生涯学習の研究』第39号，2018年6月，6－8頁。

- 書評 辻浩「書評リプライ：辻浩『現代教育福祉論—子ども・若者の自立支援と地域づくり—』（ミネルヴァ書房，2017年10月）」日本社会福祉学会『社会福祉学研究』Vol. 59-2，2018年8月，115－117頁。
- 論稿 辻浩「＜自治＞という施政をつくる学びと実践—『自治が育つ学びと協働 南信州・阿智村』を編集して—」社会教育・生涯学習研究所『社会教育・生涯学習の研究』第38号，2018年3月，2頁。
- 論稿 辻浩「地域と学校は何のために連携するのか」社会教育推進全国協議会『日本の社会教育実践2018—第58回社会教育研究全国集会資料集—』2018年8月，47－48頁。
- 論稿 辻浩「障害のある人の学校卒業後の学習機会をつくる新たな動き」社会教育・生涯学習研究所『社会教育・生涯学習の研究』第40号，2018年9月，2－3頁。
- 口述記録 辻浩「都市型社会教育の課題—若者支援を中心に—」社会教育推進全国協議会東京23区支部・東京23区社会教育ネットワーク『いま 知りたい 伝えたい—東京23区社会教育白書2018』2018年8月，1－9，12－14頁。
- 口述記録 辻浩「誰もがしがあわせ（仕合せ）を感じられる仲間づくり」『町田市生涯学習センター利用者交流集会記録—“みんなちがって みんないい” 語り合おう！仕合せ広場—』2018年9月，6－14頁。

河野 明日香

- 論文 河野明日香「第10章 教育と国家建設 独立後の教育にみる人材育成」宇山智彦，樋渡雅人編著『現代中央アジア—政治・経済・社会—』日本評論社，2018年，5月，231－255頁。
- 論文 河野明日香「第3部生活・社会 29. 教育—新国家建設と個々の自己実現の要」帯谷知可編著『ウズベキスタンを知るための60章』明石書店，2018年，5月，194－200頁。

横山 悦生

- 翻訳 ラーシュ・ペッタション著，ブロンベリ・ニクラス，横山悦生共訳「なぜスウェーデンはデンマークと異なる経路を選択したのか—1950年代の職業教育諸改革の背景—」『生涯学習・キャリア教育研究』第14号，2018年3月，p.41－p.54
- 共著論文 Gisli Thorsteinnsson, Etsuo Yokoyama “The Arts and Crafts Movement and its influence on English Education at the beginning of the Industrial Revolution”『技術教育学の探究』第17号，2018年4月，p.35－p.47
- 翻訳 オッター・サロモン著，横山悦生訳「いわゆる準備練習について」『技術教育学の探究』第17号，2018年4月，p.58－p.70
- 共著論文 Etsuo Yokoyama, Akiyuki Miyake ‘Practice and challenges of the 5S method in local small and medium enterprises –Focusing on “Shitsuke” Training–’ “Материалы XXIV Международной научно-практической конференции «Современное технологическое образование»/ Под ред. Хотунцева Ю.Л.” Москва: МПГУ, 2018, p.87－p.94
- 共著論文 三宅章介・横山悦生「職業指導から進路指導への移行過程についての一考察」『技術教育学の探究』第18号，2018年10月，p.21－p.31
- 翻訳 オッター・サロモン著，横山悦生訳「モデルシリーズの組織に関するいくつかの観点について」『技術教育学の探究』第18号，2018年10月，p.5－p.13
- 翻訳 オッター・サロモン著，横山悦生訳「スウェーデンの教育的スロイドはいかなる考え方を生み出してきたのか？」『技術教育学の探究』第18号，2018年10月，p.14－p.17
- その他 「編集後記」『技術教育学の探究』第17号，2018年4月，p.71
- その他 「編集後記」『技術教育学の探究』第18号，2018年10月，p.75

大谷 尚

- 著書 大谷尚（2018）『質的心理学辞典』（項目担当）. 新曜社
- 論文 Noriyuki Takahashi, Aomatsu Muneyoshi, Takuya Saiki, Takashi Otani, Nobutaro Ban (2018) Listen

to the outpatient: qualitative explanatory study on medical students' recognition of outpatients' narratives in combined ambulatory clerkship and peer role-play. BMC Medical Education. 18(229)

- 論文 大谷尚(2018)「高大接続型選抜を担うアドミッションオフィサー養成プログラムの構築に関する研究」に関する調査報告2. 大学入学者選抜に関する全米大会への参加報告. 名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属高大接続研究センター紀要. 2 (3): 20-27
- 論文 大谷尚・依田理恵子(2018)「高大接続型選抜を担うアドミッションオフィサー養成プログラムの構築に関する研究」に関する調査報告1. アメリカの大学のアドミッション部門とアドミッションズ・オフィサーに関する調査報告. 名古屋大学大学院教育発達科学研究科附属高大接続研究センター紀要. 2 (3): 3-19
- 論文 大谷尚(2017) 質的研究はどのように進めれば良いのか —しばしばなされる質問にもとづいたいくつかの具体的なガイド—. 学校健康相談研究. 14 (1): 4-12
- 論文 Yoko Hirayama, Takashi Otani, Masato Matsushima (2017) Japanese citizens' attitude toward end-of-life care and advance directives: a qualitative study. Journal of General and Family Medicine. 18(6): 378-385

渡 邊 雅 子

- 論文 渡邊雅子, 2018, 「フランスの思考表現スタイルと言葉の教育—「能力」と「教養」の対比から」『フランス教育学会紀要』第30号: 27-36 (2018年9月8日).
- 事典 渡邊雅子, 2018, 「初等・中等教育の国際比較」『教授・学習過程の社会学』日本教育社会学会編『教育社会学辞典』丸善, pp.380-381, 388-389. (2018年1月31日) ISBN978-4-621-30233-0 C3537

久 野 弘 幸

- 著書 Kuno, Hiroyuki (2018), Chapter 92. Lesson study as an effective element for curriculum implementation and innovation, Kerry J. Kennedy, John Chi-Kin Lee (Ed.), The Routledge International Handbook of Schools and Schooling in Asia, Routledge, 950-954. (2018年5月刊行)
<https://www.routledge.com/Routledge-International-Handbook-of-Schools-and-Schooling-in-Asia/Kennedy-Lee/p/book/9781138908499>

柴 田 好 章

- 小論 柴田好章「初志の会にとっての理論とは」, 社会科の初志をつらぬく会『考える子ども』, No.383, 31-35頁, 2018年1月.
- 小論 柴田好章「子どもの姿から資質・能力をどうとらえるか」, 課題研究「音楽科で育成すべき資質・能力とその評価—生成の原理に基づく音楽科授業—, その2: 生成の原理に基づく音楽科授業で育つ資質・能力」, 学校音楽教育実践論集, No.2, 10-12頁, 2018年3月.
- 図書紹介 柴田好章「鹿毛雅治・藤本和久 編著『授業研究』を創る—教師が学びあう学校を実現するために—」, 教育出版, 教育方法学研究, 43巻, 2018年3月.

坂 本 將 暢

- 論考 坂本將暢「似て非なる“[生活経験を豊か]にすること”と“[生活を豊か]にすること”」, 考える子ども, No.383, pp.36-40, 2018年1月
- 論文 坂本將暢「黒板前の左右の動きに焦点を当てた模擬授業後の指導の可能性」, 名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要(教育科学), 第64巻第2号, pp.83-91, 2018年3月
- 報告書 坂本將暢「工学的アプローチによる教育実践データの分析と意義」, 日本教育方法学会第21回研究集会報告書, pp.4-11, 2018年9月

植田 健 男

論文 「『学習指導要領体制』の転換期における教育課程づくりの課題」（民主主義教育研究会編『民主主義教育21』Vol.12 2018年4月 pp.93-100.）

共著 日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営3 教育経営学の研究動向』（学文社 2018年6月）第10章「地域コミュニティと学校にかかる研究動向と今後の方向性」（pp.107-118.）を担当.

共著 日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営5 教育経営ハンドブック』（学文社 2018年6月）「地域教育経営」（pp.20-21.）を担当.

論稿 「今次の学習指導要領改訂をどうとらえるのか」（『ひょうご民研だより』第82号 2018年8月31日 2-3頁）

論稿 「『学習指導要領体制』の転換期における学校づくり・教育課程づくりの課題」（全教教文推進委員会『改訂高等学校学習指導要領批判検討』全日本教職員組合, 2018年11月 7-11頁）

南部 初 世

著書 The Kansai Society for Educational Administration: Japanese Educational System and its Administration, Toshindo Publishing Co., 2018.3. “Teacher System”, pp.96-107.

著書 『現代の教育課題と教育経営』（日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営』第2巻, 学文社, 2018年6月）（「第12章 学校改善とスクールリーダー—『学校改善の支援に関する国際比較研究』の成果から—」194-205頁を執筆）

著書 『教育経営学ハンドブック』（日本教育経営学会編『講座 現代の教育経営』第5巻, 学文社, 2018年6月）（「第1章 教育経営学の理論と方法—学会の研究動向を知る— 1. 教育経営研究の基本概念（6）学校改善」12-13頁を執筆）

その他 「課題別セッションⅢ 『高校教育像』再構成の視点—他国における中等教育制度改革からの示唆（2）—ドイツにおける中等教育現実をめぐる論点整理」及び「討論とまとめ」（日本教育制度学会『教育制度学研究』第24号, 2017年11月, 160-163頁）

その他 「地域の潜在的教育力」（『地域教育経営に学ぶ』第20号, 2018年3月, 183頁）

その他 Hatsuyo NAMBU, “Research on the Efficacy of Japanese Educational Management Systems: Educational Specialization in a New Schools Vision (2)”（日本教育経営学会『日本教育経営学会紀要』第60号, 第一法規, 2018年6月, 329-330頁）

サルカール・アラニ・モハメッド・レザ

著書 Sarkar Arani, M.R. (2018). Lesson Study: A Global Solution for Improving Teaching and Enhancing Learning, Seventh Edition (Revised Forth Edition), Meraat Publisher, Tehran. Iran. 総頁数368. (ペルシャ語)

松下 晴 彦

論文 「20世紀初頭のアメリカにおける研究促進体制の形成とその役割」（『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要』（教育科学）第65巻第1号, 2018年10月1日, 13-23頁）

生澤 繁 樹

論文 生澤繁樹「荒野をさまよう『判断』と『責任』—デューイアン・プラグマティズムの論理と行動によせて—」, 『教育哲学研究』第116号, 教育哲学会, 2017年11月, 60-81頁.

論文 Shigeki Izawa “The Publicness of the Curriculum and the Ambiguity of the Shift to Participatory Politics: The Intersection of Politics and Education Regarding ‘Representation’”, translated by Nadezhda Murray, *Educational Studies in Japan: International Yearbook*, No. 12, Japanese Educational Research Association, March, 2018, pp. 135-151.

論文 生澤繁樹「『未来』を考慮に入れること—真理と実在をめぐるプラグマティズムの経験論—」, 『近代

教育フォーラム』第27号, 教育思想史学会, 2018年9月, 100-110頁.

- 論文 (共著) 相馬伸一, 室井麗子, 椋木香子, 小山裕樹, 生澤繁樹「教員採用試験における教職教養分野の特質と課題—教育思想史分野を中心に—」, 『広島修大論集』第58巻第2号, 2018年3月, 117-159頁.
- 論文 (共著) 小野文生, 山名淳, 矢野智司, 岡部美香, 池田華子, 生澤繁樹, 平田仁胤「教育哲学は〈災害と厄災の記憶〉にいかに向き合うのか—『災害と厄災の記憶が伝える』が提起しえたこと／しえなかったこと—」, 『教育哲学研究』第117号, 2018年5月, 98-104頁.
- 論文 (共著) 生澤繁樹, 室井麗子, 玉手慎太郎, 田畑真一, 市川秀之, 山本圭, 関根宏朗「ポスト基礎付け主義と規範の行方—政治と教育から問いなおす—」, 『近代教育フォーラム』第27号, 2018年9月, 136-144頁.
- 書評 生澤繁樹「書評: 平井悠介著『エイミー・ガットマンの教育理論—現代アメリカ教育哲学における平等論の変容』」, 『教育学研究』第85巻第1号, 2018年3月, 90-93頁.
- その他 生澤繁樹「『よし, クリーニング屋に行こう!』—子どもの学びと生活経験とをつなぐプラグマティズム—」, 『名大トピックス』第294号, 2017年11月, 10頁.

服部美奈

- 著書 (分担執筆) 近田政博・乾美紀・服部美奈「第3章 東南アジアの教育計画と質向上のための課題」山内乾史・杉本均・小川啓一・原清治・近田政博編著『現代アジアの教育計画 補巻』, 学文堂, 2017年12月, 40-64頁.
- 著書 (分担執筆) 服部美奈・西野節男・小林忠資「第10章 マレーシア (クランタン州) におけるイスラーム教育の発展に関する一考察」近藤孝弘・中矢礼美・西野節男編著『地域研究 多様性の教育学へ』(リーディングス 比較教育学), 東信堂, 2018年6月, 184-223頁.
- 著書 (分担執筆) 服部美奈「第11章 イスラーム的な人間形成—その包括性」近藤孝弘・中矢礼美・西野節男編著『地域研究 多様性の教育学へ』(リーディングス 比較教育学), 東信堂, 2018年6月, 224-238頁.
- 著書 (分担執筆) 服部美奈「アジアにおける教育制度と改革動向」(第11章第4節), 田中亨胤・越後哲治・中島千恵編著『改訂 未来に生きる教育学—変動期の教育の構築』, あいり出版, 2018年10月, 172-178頁.
- 雑誌 服部美奈「インドネシアの高等教育戦略」(アジアの高等教育事情 ダイナミック・アジアⅡ - ④) カレッジマネジメント』, Vol.207 (2017年11-12月号), リクルート, 2017年10月, 52-54頁.
- 報告書 服部美奈「インドネシアにおける高大接続プログラムの展開—国際共同学校 (Satuan Pendidikan Kerjasama: SPK) における国際プログラムに焦点をあてて—」『アジアにおける大学入試の多様化と高大接続プログラムの標準化に関する国際比較研究』(科学研究費補助金 基盤B 平成27~29年度 研究代表者: 小川佳万) 最終報告書, 2018年3月, 121-134頁.

松本麻人

- 著書 (分担執筆) 「韓国の学校の役割と教職員」, 「韓国の教育課程実施体制」, 「韓国の生徒指導体制」, 藤原文雄編著『世界の学校と教職員の働き方』, 学事出版, 2018年3月, 62-68頁, 127-133頁, 192-198頁.
- 著書 (分担執筆) 「韓国」文部科学省編『諸外国の教育動向 2017年度版』, 明石書店, 2018年8月, 143-186頁.
- 著書 (分担執筆) 「韓国」文部科学省編『諸外国の生涯学習』, 明石書店, 2018年10月, 211-239頁.
- 著書 (分担執筆) 「韓国大学教育協議会」, 「韓国の大学」, 「韓国の大学法制」, 児玉善仁[ほか]編『大学事典』, 平凡社, 2018年6月, 320-322頁.
- 論文 「韓国におけるキリスト教主義大学の形成・展開の考察に関する方法論的検討」『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要. 教育科学』第65巻第1号, 2018年10月, 41-49頁.
- 報告書 「韓国における高大接続プログラムの展開—韓国国内 AP と UP の実際と課題—」『アジアにおける大学

入試の多様化と高大接続プログラムの標準化に関する国際比較研究』（平成27～29年度科学研究費補助金基礎研究B最終報告書・研究代表者：小川佳万）2018年3月，28-44頁。

その他 「韓国の大学における入学金廃止をめぐる動向」『IDE』第599号，2018年4月，59-62頁。

その他 「韓国の大学における社会人学生受入れの現在①「先に就職，後に進学」政策の展開」『文部科学教育通信』第443号，2018年9月10日，18-19頁。

その他 「韓国の大学における社会人学生受入れの現在② 社会人学修支援の実際と課題」『文部科学教育通信』第444号，2018年9月24日，22-23頁。

伊藤彰浩

論文 「戦間期アメリカにおける州立高等教育システムと研究大学（その2）」，伊藤彰浩，『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要・教育科学』，65（1），pp.25-39，2018年10月

辞典 「教育の歴史社会学」 「概説：教育社会学における組織と知識の制度化」（橋本鉦市との共著）『教育社会学辞典』丸善出版，2018年1月。

辞典 「日本の高等教育」「戦後改革と新制大学」「新設学部の動向」「教育評議会」「高等専門学校」「専科大学」「文理科大学」「教育審議会」「遠山プラン」「大学冬の時代」「音楽・芸術系学部」「体育系学部」「社会福祉系学部」『大学事典』，平凡社，2018年6月。

内田良

論文 内田良・加藤一晃，「学校プールの飛び込みスタートによる頭頸部外傷に関する分析：構造上の瑕疵による重大事故」『子ども安全研究』3：30-33，2018年1月。

阿曾沼明裕

論文 「機能分化した米国高等教育システムにおける研究大学の位置：政府の役割を考えるために」阿曾沼明裕，『名古屋大学大学院教育発達科学研究科紀要 教育科学』，64（2），2018年3月。

論文 「研究費と大学財政（若手からみた「大学改革」）」阿曾沼明裕，『IDE：現代の高等教育』，603，2018年8月8日。

辞典 「大学財務」阿曾沼明裕，『教育社会学辞典』，丸善出版，2018年1月。

辞典 「学位の種類」「学位と専門職団体」「学位授与機関（アメリカ）」「研究学位」「専門職学位，職業学位」「学位授与式」「博士」「修士」「学士」「課程博士」「論文博士」「MBA（経営学修士）」阿曾沼明裕，『大学事典』，平凡社，2018年6月。

埜寄志保

論考 埜寄志保「日本の農業から力強い生き方を学ぶ伊倉実践」社会科の初志をつらぬく会編『考える子ども』No.387，138-139頁。